

【COVID-19に関する心臓リハビリテーションの現状(2020.4.13時点)調査報告書】

2020.4.21

日本心臓リハビリテーション学会広報委員会
委員長 木村穰

調査タイトル: COVID-19に関する心臓リハビリテーションの現状調査

調査期間: 2020年4月13日(月)~4月16日(木)

調査手法: Google Form を利用したインターネットアンケート

対象施設: 日本心臓リハビリテーション研修施設 40 施設

回答施設数: 37 施設(最終報告)

大学病院; 22 施設

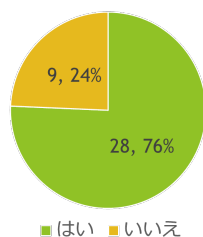
一般病院; 15 施設

東北; 3 施設、関東; 13 施設、関西; 7 施設、九州; 6 施設

北海道・中国; 各 2 施設

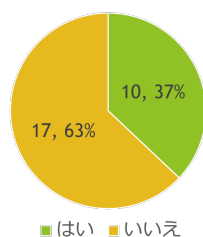
中部・北陸・四国; 各 1 施設

COVID-19 の受け入れ施設ですか?



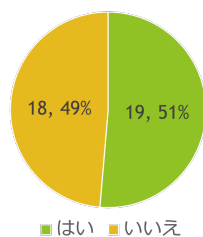
- 今回の調査は、日本心臓リハビリテーション研修施設を対象に行い、大学病院が約6割、また一般病院の中にも救急指定病院が多く含まれており、COVID-19 の受け入れ施設が 3/4 を占めていた。

COVID-19 の診療経験はありますか?



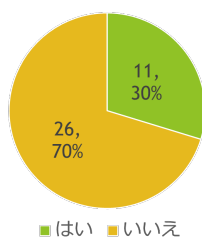
- 現状の診療は集中治療や救急医学が主体であり、心臓リハビリテーションの関係者の診療経験は4割弱に留まったが、今後の状況によっては、増加する可能性もある。また、回答者が部長や管理者なのか、より現場に近い担当者かによっても診療経験に違いが出てくる可能性がある。

緊急事態宣言発令地域ですか?

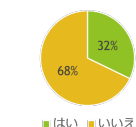


2020.4.16 の夜に緊急事態宣言を全国へ広げたため、今回の調査は、2020.4.7 に緊急事態宣言が発令された埼玉、千葉、東京、神奈川、大阪、兵庫、福岡の7都府県の施設が該当する。

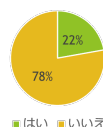
外来通院型集団運動リハビリテーションを実施/継続していますか？



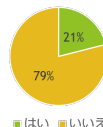
COVID-19受け入れ施設



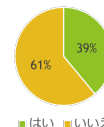
COVID-19受け入れ未施設



緊急事態宣言地域

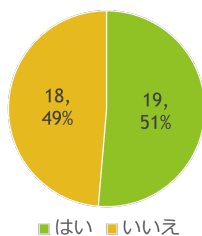


非緊急事態宣言地域

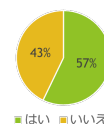


- 今回の調査は、学会からの心臓リハビリテーション指針(2020.4.20 公表)が出る前であり、各施設の判断で、全体として7割の施設で外来通院型集団運動リハビリテーションを中止していた。
- COVID-19 の受け入れ施設であるかよりも、緊急事態宣言地域であるかが中止の判断に関与している傾向であった。

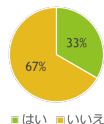
入院集団運動療法を実施/継続していますか？



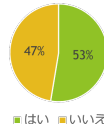
COVID-19受け入れ施設



COVID-19受け入れ未施設



緊急事態宣言地域

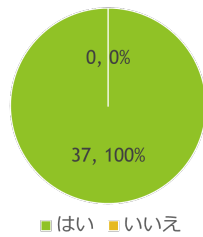


非緊急事態宣言地域



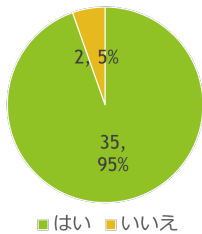
- 入院集団運動療法については、各施設の判断で、実施と中止が二分していた。
- COVID-19 の受け入れ未施設が受け入れ施設よりも中止している傾向であったが、地域差は認めなかった。

入院個別運動療法は実施/継続していますか?

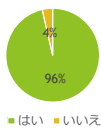


➤ 全施設で入院個別運動療法は実施/継続していた。

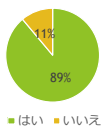
運動療法実施の際に医療者のサージカルマスク装着は義務化していますか?



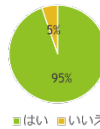
COVID-19受け入れ施設



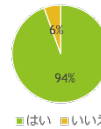
COVID-19受け入れ未施設



緊急事態宣言地域

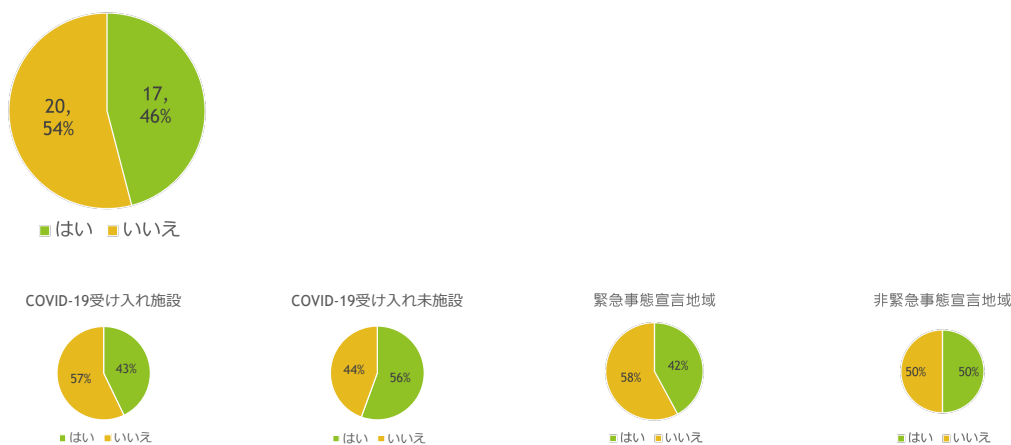


非緊急事態宣言地域



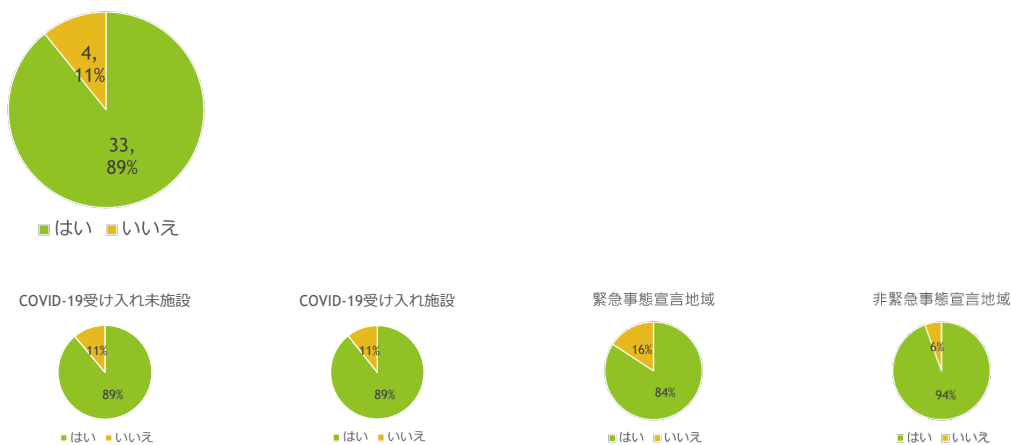
➤ 多くの施設で医療者のマスクの装着義務をしていた。

運動療法実施の際に患者のサージカルマスク装着は義務化していますか？



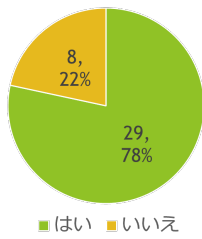
- 医療者に比べると患者のサージカルマスク装着の義務化はされておらず、半数の施設に留まった。

運動療法実施前後で消毒は実施していますか？

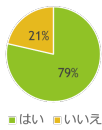


- 多くの施設で消毒は実施していたが、医療者のマスク装着よりは消毒の実施が徹底できていなかった。

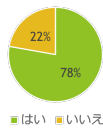
患者さんから外来心臓リハビリテーションのキャンセルはありましたか？



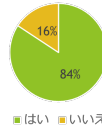
COVID-19受け入れ施設



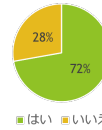
COVID-19受け入れ未施設



緊急事態宣言地域

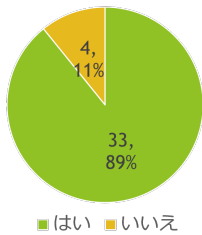


非緊急事態宣言地域

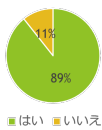


- 8割の施設でキャンセルの問い合わせがあったことが判明した。外来心臓リハビリテーション参加者の健康意識が高いことを反映している可能性が示唆された。

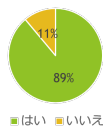
集団および個別リハビリテーションの実施について工夫されていることはありますか？



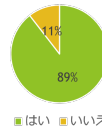
COVID-19受け入れ施設



COVID-19受け入れ未施設



緊急事態宣言地域

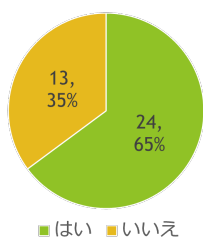


非緊急事態宣言地域

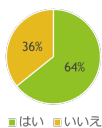


- 多くの施設で、三密(密閉・密集・密接)を防ぐ、さまざまな工夫を各施設の判断で行っていることが分かった。

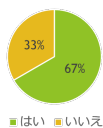
トレッドミル試験は実施していますか?



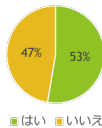
COVID-19受け入れ施設



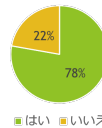
COVID-19受け入れ未施設



緊急事態宣言地域

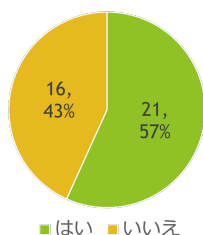


非緊急事態宣言地域

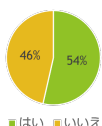


- 2/3 の施設でトレッドミル試験は継続していたが、緊急事態宣言地域では約半数が中止の判断をしていた。

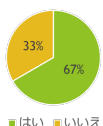
心肺運動負荷試験は実施していますか?



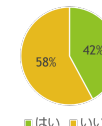
COVID-19受け入れ施設



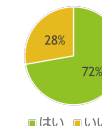
COVID-19受け入れ未施設



緊急事態宣言地域

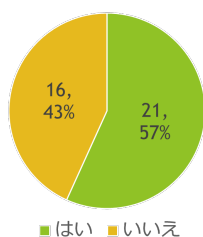


非緊急事態宣言地域

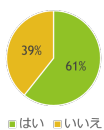


- 4割の施設で心肺運動負荷試験は中止していた。
- 緊急事態宣言地域では6割、非緊急事態宣言地域では3割が中止の判断をしており、地域により判断が大きく異なることが判明した。

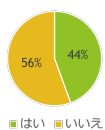
運動負荷試験について何か工夫されていることはありますか？



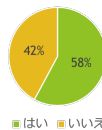
COVID-19受け入れ施設



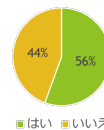
COVID-19受け入れ未施設



緊急事態宣言地域

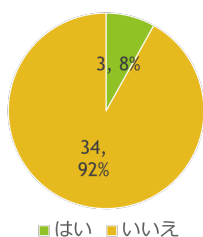


非緊急事態宣言地域

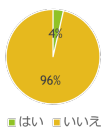


➤ 6割の施設で、何かしらの工夫を各施設の判断で行っていることが分かった。

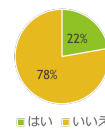
遠隔リハビリテーションは実施していますか？



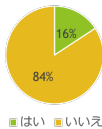
COVID-19受け入れ施設



COVID-19受け入れ未施設



緊急事態宣言地域

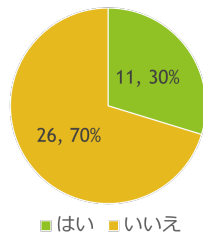


非緊急事態宣言地域



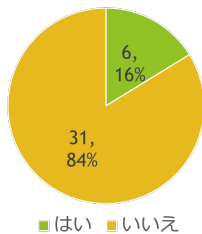
➤ 遠隔リハビリテーションが、まだ現状では限られた施設での運用になっており、整備されていないことが反映していた。

今後遠隔を実施する具体的な予定はありますか？

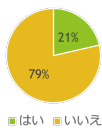


- 今回の COVID-19 を契機に、今後さらに遠隔リハビリテーションが発展していく可能性が示唆された。

入院集団患者指導は実施/継続していますか？



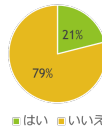
COVID-19受け入れ施設



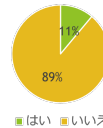
COVID-19受け入れ未施設



緊急事態宣言地域

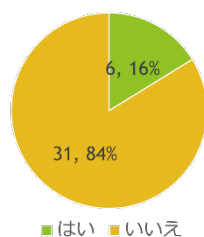


非緊急事態宣言地域



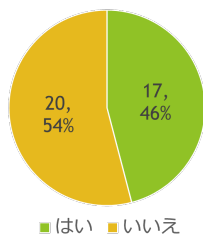
- 多くの施設で、すでに中止していることが判明した。中止した場合の代替案をアンケートに入れていなかったため、詳細は不明だが、入院中の指導は個別指導に切り替えていると思われる。

心臓リハビリテーションに関して、患者さんからの要望は何かありましたか？

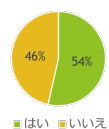


- 「はい」の 6 施設のうち 4 施設が、COVID-19 受け入れ施設かつ緊急事態宣言発令地域であった。

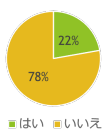
COVID-19 の拡大に応じて、指導内容を変更していることはありますか？



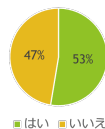
COVID-19受け入れ施設



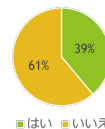
COVID-19受け入れ未施設



緊急事態宣言地域



非緊急事態宣言地域



- 約半数の施設で、指導内容を変更していることが判明した。
- 受け入れ施設と受け入れ非施設とで、対応に大きく異なっていた。

<謝辞>

早急にご対応いただいた研修施設の関係者の皆様に、御礼申し上げます。
 こちらの調査結果を参考に、今後の学会の広報活動に活用させていただきます。
 今後もフォローの調査を実施する予定ですので、引き続き、ご協力のほどよろしく申し上げます。